



平成29年度予算案のポイント

全国に誇る「長野県教育」の実現に向けて

教育委員会

学校での学びと、地域における学びが結びつき、郷土の未来を拓く「長野県教育」を実現する取組

学校における学びの変革 ～地域とつながり、地域と共に学ぶ学校～

地域における学びの創造

■ 未来とつながる

未来を見据えた学びの推進

◇ICTを活用した学びの推進 (246,990千円)

○ICTを活用した先駆的・モデル的学習の実践研究

- ・高校における教育の情報化推進
- ・遠隔教育システムの活用等
- ・RESASを活用した探究学習の推進

○ICT利活用環境整備

- ・電子黒板、生徒用タブレット端末の整備
- ・ICT支援員の派遣

○教員のICT活用指導力向上研修の実施

◇ 学びの改革(高校フロンティア改革) (2,749千円)

H30年度以降の高校の姿を「学びの改革 実施方針」として策定し、魅力ある教育の場として高校を構築

- 地域懇談会の開催
- 市町村長、産業界等との意見交換会の開催

◇ 未来を担う科学技術人材の育成(22,074千円)

- 中高生の航空宇宙分野への関心を高める取組を推進
- 科学オリンピックなどで活躍できる人材を育成

■ 世界とつながる

郷(ふるさと)を知り世界と向き合える人材の育成 (240,199千円)

◇海外学生との交流や多様な経験を積むための体験的なプログラムを実施

- 信州グローバルユースセミナーの開催
- ・県内で高校生の語学力、課題解決力を育成するセミナーを開催し、異文化交流体験の機会を創出

○「学校内の学び」から「社会に開かれた学び」へ向け、学校とセミナー主催団体とをつなぐプラットフォームの設立を検討

◇ 未来塾ながの abroad(高校生の留学促進)

フィリピンへの短期留学(県単)の継続

グローバル語学部派遣 等

◇ SGHスーパーグローバルハイスクールにおける取組

○ディスカッションやプレゼンテーションのツールとして英語を使いこなすための指導等を充実

■ 地域とつながる

地域とともに学びを深める取組の推進

◇「信州学」の推進(12,899千円)

- 信州学推進員委員会を設置し、各高校が行う地域の特色を生かした信州学を推進
- 信州学に積極的に取り組む教員を養成
- 学習内容・成果を発表するための「信州学サミット」の開催

◇ 学びと働きを連携させた新たな人材育成モデルの推進 (90,229千円)

- 地域企業と連携し、最先端の技術を体験実習するなど、デュアルシステムにより、地域産業を支える人材を育成

◇ 特別支援学校における総合的な就労支援 (15,873千円)

- 新たに技能検定を導入し、職業教育を充実
- 就労コーディネーター配置の継続

◇ 学びの改革(高校フロンティア改革)【再掲】

■ 世代を超えた学び

世代を超えた学びの実現

◇ 県立図書館改革の推進 (211,737千円)

- 「共知・共創の場」としての図書館の姿を実現
- これからの図書館フォーラムの開催等による人材育成
- 新たな時代にふさわしい学び方“Co-learning”モデルの提案

◇ 県立歴史館における学びの変革(178,523千円)

「来館型」から「地域貢献型」の歴史館へ転換し、歴史を学ぶことから未来を考える取組を推進

- お出かけ歴史館
- ・県内どこでも歴史を体感できる機会づくり
- 開館25周年(H31年)に向けた取組
- 企画展「縄文土器Ⅱ」(仮称)の開催 等

◇ 「みんなの学び」創造事業

- ・共知・共創の県づくりに向け、県内各地でファシリテートの達人の協力を得て、ゆるやかなネットワークづくりに着手
- ・県立図書館事業と連動したソーシャルイノベーションワークショップを開催

しあわせ信州創造プラン・第2次教育振興基本計画(H25～H29)の着実な遂行

学びの保障・学びの基盤

■ 信州教育の信頼回復に向けた取組

- 非違行為の根絶等、教育の信頼回復に向けた取組を全力で実行

■ 困難を抱える子どもへの支援、相談体制の充実

- スクールカウンセラーの配置(148,755千円)
- スクールソーシャルワーカーの配置充実(62,553千円)
- 特別支援教育の充実(753,741千円)
- ・通級指導の充実 39教室設置(H29:11教室増)
- ・自立活動支援教員の増員(H26～H29で80人増)
- ・中信地区特別支援学校再編計画の着実な推進(523,943千円)

■ 学力の向上

- 「未来を拓く学力」の向上事業(6,541千円)
- 次期学習指導要領の実施に対応する計画の策定

■ 教育環境の維持改善

- 県立学校の集中的な環境改善(980,595千円)
- 老朽化に伴う計画改修をH28から3年間で集中的に実施(H28～30)
- 加えて、児童生徒が長時間過ごす生活の場でもある県立学校のトイレ洋式化などにより、学習環境を向上

性被害防止に向けた教育

■ 児童生徒、教員向けの取組【教育委員会】(7,369千円)

- 性被害防止教育キャラバン隊
- ⇒派遣先拡大(中学校拠点校、特支学校)
- 性に関する指導の研修会の充実
- ・専門研修、実践研修の実施
- ・ワークショップ等の教員研修会の実施

■ 保護者、地域住民向けの取組【県民文化部】

■ 性被害防止教育における連携【警察本部】

スポーツの振興

■ 冬季国際大会の開催(30,000千円)

長野五輪から20年経過を契機にノルディックコンバインドワールドカップ及びFISサマーグランプリ白馬大会を開催

■ 県立武道館の建設に向けての設計等の実施(137,200千円)